



1 月 号
八 郷 町 役 場

人口と戸数(12月末)
世帯数 5,742
人口 { 男子 16,277
 女子 16,951
 計 33,228

年頭にあたり

町長 大槻 忠 夫

役場吏員の昇給を行つたことを報告できますことは、私の年頭第一のよろこびでありまして、ご協力下さつた方々に心から感謝申し上げます。



新年おめでとうございませう。八郷町誕生二年の去年は、農村においては最良の年とまでは行かなかつたにせよ、ますますと言ふところ、町も建設途上にいくつかの大きな足跡を残してこゝに一陽来福、希望に満ちた新春を迎えましたことは、先ずもつておめでたいこととさせていただきます。

昨年は町の自力で町財政に赤字をなくして、町政の基本をかためることに重点をおき町行政全般にわたり、徹底的な消費節約を断行、役場吏員には前年より引き続き二ヶ年間昇給をストップし、去る十月には五十五才をこえた吏員十七名に勇退を勧告してやめていただくなど、情において忍びざるをしのび、たえがたきをたえてまいり、他面納税成績の向上には、皆さまの一段の協力をいただきましたので、本年度の決算では完全に赤字財政を解消できる確信がもてましたので、新年早々全

新農村建設計画を樹立して町の発展方向を明らかにしようとした、町の自主的振興計画は昨年四月予定通り完成いたしました。この建設計画実行の第一年度である昨年は、国の農村振興特別助成の指定を受けましたため、町の振興施策は特別助成事業の計画と実行に集中する結果を来しました。町の重点施策である道路網の整備も着々進み、主要町道が見違える程改善されましたことは、皆さまご承知のとおりであります。また八郷高校の設置は、敷地の買収、地ならしを完了し、第一年度計画の建築に着手せんとする段階にまで進んでおります。その他国民健康保険の全町実施、消防施設の整備、新生活学級を中心とする新生活運動の推進等、皆さまとともに進んで参りました昭和三十一年の足あとには誠に大きいものがございませう。

自主的に赤字財政克服に成功した本年は、まだまだこの段階に満足すべきではなく、納税貯蓄組合の増設強化など町民皆さまの建設意欲の昂揚によつて、完全納税による町の健全財政の確立を実現いたさねばなりません。町財政が健全化されて、こゝに始めて果下才二の大町たる実力が発揮出来るのでありまして、新農村建設計画に基づく農村振興施策の推進による農家経済の改善向上と相まって町発展の基盤をつちかえながら、昨年に引続いて八郷高校の設置教育施設の充実、道路交通網の整備等を中心とする文化八郷の建設に、たゆまぬ努力を続けたいものでございませう。

私は原子力平和利用による第三次産業革命の前夜とも言ふべきこの新らしい時代に、この大八郷町の理事者として、三年目の新春を迎えましたことを限りなき光榮に存するものであり、三万三千町民の福祉の増進には、渾身の努力を捧げねばならぬ責任を痛感するものでございませう。

どうぞ親愛なる町民の皆さま、今年もまた「理想郷大八郷町建設」を合言葉として堂々たる大行進を続けようではありませんか。

年頭のとあいさつ

議長 櫻井 浩 藏



昭和三十一年の新春を迎うるにあたり、八郷町の皆さまのご幸福とご繁栄とをお祈りいたします。

当八郷町も合併後、はや三年目、町政も着々軌道にのり、自治体として健全なる発展をなしつゝあることは、同慶にたえません。即ち、町財政に赤字の克服、全町民皆国民加入、道路の整備強化、消防施設の充実、教育振興等、大いに見るべきものがありまことに久しく吾々の待望せる高校誘致の問題も順調に進捗し、敷地の整備も自衛隊の特別な援助により、広はんなる面積が整地され、近々中には建築設計書も完成、着工の運びとなりましたので、新学期迄には木の香ゆかしき高校校舎の建築も竣工せられ

町議会正・副議長改選

保険課設置もさるる

町では去る十二月二十八日臨時町議会を開いて、次のことがきまつた。

保険課を設置

今まで国民健康保険の業務は、厚生課が所管しておつたが、町民の福祉増進のため非常に重要な町務であり、県よりのすすめもあつたので、町条例を改正して保険課を独立させた。

これで役場は六課二室となつた。

正・副議長の改選

一ヶ年の申合せで就任していた櫻井・滝田の正・副議長は任期が満了、辞職したので互選の結果、

議長 櫻井 浩藏 (再)
副議長 滑川 好道 (新)
の両氏が当選就任した。



互選の得票は次の通りであつた。

議長	櫻井 浩藏	二六票
副議長	滑川 好道	一八票
	滝田 源三郎	四票
	関野 信平	四票
	関野 義延	一票
	櫻井 浩藏	一票

みななが年の瀬をあかるく越すことができるようにといふ歳末たすけあい運動が、今年も全国に展開されました。町でも旧年末に皆さまの温かい気持ちをあつめていまして、この運動を通じて、「思いやり」と「共存の精神」をたかめ、みななが明るいお正月を迎えられるようにしたいものです。

改選された 民生委員

三年間お骨折りいただいた民生委員は、昨年十一月で任期が満了したので、十二月一日より次の方々が選任された。

- 柿岡地区 (七名)
 - 氏名 担当区域
 - 土田 松之亮 西町 荒宿 上宿
 - 滝田 せき 内宿 新宿
 - 富田 長太郎 館 研究所 新地
 - 小松崎 達 下宿 金指
 - 谷田 辰造 長堀 八重 高友
 - 飯田 薫 片野
- 小幡地区 (八名)
 - 小林 平右衛門 須釜 石沢
 - 富田 幸 加生野 原 押越
 - 島田 一郎 中山 中山 開拓
- 瓦会地区 (五名)
 - 鈴木 包造 部原
 - 比氣 新一郎 小崎
 - 田島 勝三 宇治会
 - 林 勝三 佐久
 - 国谷 重左右 瓦谷
- 園部地区 (八名)
 - 広瀬 政久 西原 上坪 神影
 - 高橋 マツ 長原 西久保
 - 鶴井 寛四郎 向原 中坪 下坪
 - 永井 要 鶴沼 永沼 園東
 - 大槻 爲之丞 上郷 山根 真家
 - 本多 守之助 宮ヶ崎 張間
 - 岩瀬 源市 真家宿 園中
 - 須藤 善一 東山崎 千本
 - 須藤 善一 上谷原 園西
 - 須藤 善一 宿山崎
- 林地区 (五名)
 - 島田 作造 からすり 片岡
- 大木 フサ 根小屋
- 吉川 イン 浦須 上林 前島
- 小林 幹之助 下三塚 飯塚
- 櫻井 利一 大関 戸内 開拓

小幡地区 (七名)

- 原田 盈徳 半田
- 宮司 順 半田
- 鴻巣 豊 小野越 仏生寺
- 小松崎 朝十郎 弓弦 柴内
- 中村 貞寿 月岡 青田
- 松延 勝雄 辻 葛浦沢
- 岡崎 喜福 川又

山本 采吉

一、何と申しても、年があらたまると云う事は、気分の上からも、新しい感覚が起つて来るものです。その意味で、毎年の事ながら新年はたのしいものです。それをハカバへの一里塚だ等と、ヒガムのは宜しくないと存じます。やつぱり新年は、大いにたのしむのがよいと思つてゐます。

一、昭和卅二年は、原子力平和利用が完全に軌道に乗る年だと思はれます。

原子力の平和利用と申しても、あまりにもその範囲が広大で、吾々素人には想像も出来ないほどです。原子力利用の発電所だとか、センスイ艦だとか、云ふのは最早子供でも知つてゐる位実用化されて居ますから、今更驚くこともないが、現在では世界中で大さわぎをしてゐるのは、アイソトープの利用なのです。

一、アイソトープと申すのは原子核が破壊されるときに

出て来る放射能の事で、このアイソトープが、医学上は勿論、農業上、化学上、あらゆる方面に利用されつゝありまして、文字通りの日新月异なのです。

サシミにアイソトープをかける時、何ヶ月たつても、色も味も変化しないで保存されるし、じやがイモにかけると二倍以上の収量が増すし、繊維品にかけると変質して人造の毛糸が出来るし、一々枚挙にいとまなしと申しても過言ではありません。

二、全く本年からは原子力平和利用時代となり、第三次産業革命が行はれる年となりました。

お互吾々は、本年こそ原子力の平和利用について、重大なる関心を以て、時代の推移に遅れないことが、経済的にも、文化的にも、才一の要件だと愚考致します。今年こそ大いに頑張ります。

以上

迎春の辞

農業委員長 櫻井利一

東天紅 鷄鳴一声一九五七年の新春は、八郷盆地に住む三万三千のわが同胞の上に切つて落されました。皆さま今年こそ幸多かれとお祈り申し上げるものとございます。

さて吾が八郷町も窮乏ここに三年目のお正月を迎えたわけですが去年は二千二百町歩の水田と、三千三百町歩の畑地とに取りくんで毎日食糧増産に活躍された四千七百戸の農家の皆さまの努力により豊作が予想されました稲作も、予想をうらぎられました。が、責任観の旺盛なわが八郷農民は予約数量を突破した売渡成績を示し、肩の重荷を下し、スツキリしたお正月が楽しめる心境は、丁度恋瀬川の清い流れにも似て、お互感謝の至りでございます。

辞 櫻井利一 農林委員会

昨年私共の關係しました農地問題をかえりみますと農地の売買が増加の一途を辿つており、寒心にたえないものがございす。国は折角取得された農地の手離なされることを防ぐため、自作農維持資金の貸付をいたして、手厚い親心をさしたべておるのであります。また農地の転用についてもその手続きがよく行はれておらないものも少くないようでございます。農地は豊民生活の基本ですので、その手続きはきちょうめんにお願い致したいと思ひます。新内閣の農業政策にも、農産物の増収と酪農の振興が強く打出されてますが、局限された農地・山林・原野の高度利用の実現に努力いたさねばなりません。

さいわい、新農村建設の指定を受けている八郷町はこれをチャンスとして豊かな、明るい、住みよい町の建設に努めたいものです。所見の一端をのべて迎春の辞といたします。

新年の御挨拶

教育委員長 江幡一夫

輝かしい昭和三十一年の新春を迎え謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は教育関係者並に町民各位の御協力により、学校教育にまた社会教育に概ねその成果を挙げ得ましたことは本町発展のため、誠に喜びにたえません。

本年は教育委員会法が大幅に改正されてから、最初の年であり、我々は新法の精神に則り、教育の政治的中立を保ち、一般行政との調和を図り、益々教育効果の向上に努めな

ければならないと存じます。殊に小中学校のうち、小規模学校は、教員組織の充実と施設設備等の拡充を図る上に困難を伴うことが多いので、これを適正な規模にまで統合することは、義務教育水準の向上と学級経費の合理化のため、重要なことでありますので、形式にとらわれることなく教育効果を考慮し、土地の实情に即するよう検討せねばならないと思います。社会教育は学校教育と共に、重要なことは申すまでもないことで

移動図書館
"ときわ号"

巡回日程
(2)

巡回日程 (2)

一、二月巡回日程表

2月 27日	2月 29日	1月 31日	1月 16日	1月 28日	2月 13日	2月 26日	巡回月日
小松 (月岡郵便局前)	小幡 (公民館)	芦穂 (支所前)	林 (農協前)	柿岡 (農協前)	恋瀬 (支所前)	瓦会 (農協前)	園部 (支所前)
一三、三〇	一、二〇	一〇、〇〇	一五、〇〇	一三、五〇	一二、三〇	一〇、四〇	九、三〇分
"	"	"	"	"	"	"	五〇分
一四、二〇	一二、一〇	一〇、五〇	一五、五〇	一四、四〇	一三、二〇	一二、三〇	一〇、三〇分
							到着の時
							駐車時間
							発車の時

利用狀況

次の表はステーション別に貸し出した本の冊数です。

小幡	九九一四
小桜	二〇一三

計 二三 五二七

時間勵行

赤い羽根募金

昨秋の赤い羽根共同募金の地区別成績は次のとおりで、目標額の一〇〇%を突破した。ご協力感謝いたします。

地区別	柿岡	小幡	芦穂	志瀬	瓦会	園部	小林	小計
目標額	五、一四〇	四、八〇〇	四、五〇〇	四、四〇〇	五、一四〇	五、一四〇	四、八〇〇	三、五〇〇
募金額	五、一四〇	四、八〇〇	四、五〇〇	四、四〇〇	五、一四〇	五、一四〇	四、八〇〇	三、五〇〇

上曾の火災に

町より見舞

一月九日、子供の火遊びから大火事となつた上曾の火災は、峯武雄さん等七戸一七棟二四一坪を全焼し、損害見積約五四七万円であつた。町ではさつそく大槻町長が、り災者を訪問、二〇万円の見舞金をおくつた。

國小久保田さんは
給食婦に専念

園部小学校の給食婦、久保田ふみさんは、これまで助産婦の業務もやっていたが、これから給食婦の仕事に専念できよう助産婦の仕事をしたくないことにしたので、ご協力ねがいます。（教育委員会）

○役場

厚生課長 大槻 五郎
保険課長 へ

全
全
井野

全書記
全萩原奈都子

保健婦 稲田

保健課勤務へ
 総務課 主事 富田 光一
 厚生課長へ

厚生課へ

經濟課書記 赤羽根 実
総務課へ
(二月二日附)

大増小 石橋

恋瀬小へ
恋瀬小 小仁所久子

●

おことわり
日本青年団協議会機関誌

私の名をかたつて町政
維した記事が載つたの

私は憤がいにあえず原稿を
取押へ筆跡鑑定の結果、八

書であることが判明し

と云ふた青年にあるまじき卑怯な行為に対し、八郷公報を通じて断乎抗議する

と共に私の責任を明らかにし、
 へたをしなへと思ひます。

(八郷町小倉籠田 桜井八郎)